

平成 29 年度事業報告書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

1 公益目的事業について(演劇の振興事業)

1. 「北海道の演劇の向上事業」演劇の製作公演等による人材育成に関する事業 定款第 4 条第 1 号に掲げる事業は、次の通り実施した。

(1) 札幌座による演劇の企画、製作および公演による人材育成事業

札幌からの演劇創造と発信を目指して公演を行い、製作公演活動を活用して新たな演劇文化の担い手を育成する研修事業を行った。運営は代表幹事に委託した。

代表幹事: 斎藤歩(チーフディレクター)、木村典子(プロデューサー)

任 期: 平成 28 年度～31 年度

平成 29 年度は、新作 3 作品、再演 1 作品、ならびに海外公演を実施した。これまで毎年参加してきた「札幌演劇シーズン」にエントリーせず、新作の創造に重点を置き、演劇の製作および公演を行った。並行して、札幌市こども人形劇場こぐま座と連携し、札幌国際芸術祭 2017 に参加するなど、札幌市主催の芸術文化事業に寄与した。また、研修生を積極的に募集し、演劇製作を通じた人材育成に取り組んだ。ただし、日本劇団協議会主催の委託事業として実施予定だった日本の演劇人を育てるプロジェクト「二人で狂う…好きなだけ」(育成対象者: 小佐部明広)は、日本劇団協議会の事情により平成 30 年度に延期となった。

◎【新作】札幌座第 52 回公演「象じゃないのに」

原作: イ・ミギョン 翻訳: 木村典子

脚色・演出・音楽: 斎藤歩

出演: 斎藤歩、佐藤健一、原子千穂子、山野久治(風の色)、川崎勇人(劇団東京乾電池)

公演日: 5 月 11 日～14 日(6 回)

会 場: シアター ZOO(札幌)

入場者数: 366 人

◎【海外公演】札幌座「亀、もしくは…」ユジノサハリンスク公演

原作: カリンティ・フリジェシュ 翻訳: 岩崎悦子

脚色・演出・音楽: 斎藤歩

出演: 斎藤歩、清水友陽、すがの公、弦巻啓太、櫻井幸絵

公演日: 6 月 19 日(1 回)

会場: A.P. チェーホフ記念サハリン国際舞台芸術センター

入場者数: 200 人

◎【新作】札幌座清田公演「清き田に咲くナンミョーほうれん草」

作・演出・音楽: 斎藤歩

出演: 斎藤歩、西田薫、廣田直美、彦素由幸、伊藤珠貴、末澤隆信

公演日: 6 月 25 日(1 回)

会場: 札幌市清田区民センター(札幌)

入場者数: 260 人

◎【再演】札幌座第 53 回公演「空知る夏の幻想曲」

作・演出・音楽: 斎藤歩

出演: 斎藤歩、佐藤健一、山本菜穂、高子未来、熊木志保、木山正太

公演日: 10 月 14 日～20 日 (9 回)

会場: サンピアザ劇場 (札幌)

入場者数: 1200 人

◎【新作】札幌座第 54 回公演「暴雪圏」

原作: 佐々木譲 脚色・演出・音楽: 斎藤歩

出演: 斎藤歩、磯貝圭子、林千賀子、山本菜穂、熊木志保、菊池健、山野久治(風の色)、

納谷真大(イレブンナイン)、山田百次(劇団野の上)、町田誠也(words of hearts)、有田哲

公演日: 2 月 14 日～21 日 (11 回)

会場: シアターZOO (札幌)

入場者数: 990 人

◎札幌国際芸術祭 2017 プログラム「中島公園百物語」

構成・演出: 斎藤歩 人形製作: 沢則行

講師・出演: 清水友陽、磯貝圭子、西田薫、熊木志保

実施日: 8 月 19 日・20 日 (2 回)

会場: 中島公園一帯 (札幌)

観覧者数: 約 2000 人

◎札幌座研修事業

新たな人材育成を目的とした研修システム(公演活動を通して実践的に演劇を学ぶ)で俳優養成を行った。

期間: 4 月 1 日～3 月 31 日

会場: シアターZOO

参加者数: 2 名

講師: 斎藤歩、清水友陽、すがの公、弦巻啓太、櫻井幸絵、磯貝圭子ほか

(2) 演劇による教育普及などの人材育成事業

将来の演劇文化の担い手の育成と演劇の普及啓発のため、初心者から演劇部・演劇活動者、乳幼児と子育て世代、また、コミュニティ形成・活性化への演劇の活用など、幅広い年齢層・地域を対象に、演出家と実績あるワークショップ指導者による演劇ワークショップ、コミュニケーションワークショップを行った。

1. 演劇ワークショップ事業

◎中学演劇部のための創作ワークショップ(文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業(普及啓発)」)

講師: 畑澤聖悟(渡辺源四郎商店)

期間: 6 月 17 日～8 月 12 日 (6 回)

開催場所: シアターZOO

◎実演家を目指す学生のための演劇・創作ワークショップ(文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業(普及啓発)」)

講師: 斎藤歩、櫻井幸絵、高橋詳幸、熊倉英記、横尾寛

期間: 10 月 5 日～12 月 24 日 (6 回)

開催場所: 岩見沢市民会館・文化センター、北海道教育大学岩見沢校

◎学び舎 ZOO(文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業(普及啓発)」)

講 師:キム・カンボ(演出家)、吉岡宏高(NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団)、
柳本景子(札幌市こども人形劇場こぐま座)、佐々木譲(小説家)ほか
期 間:5月13日・10月14日・11月5日・12月23日
開催場所:シアターZOO、サンピアザ劇場

2.演劇を活用した教育普及・普及啓発事業

◎文化庁「文化芸術による子供の育成事業～芸術家の派遣事業」

講 師:清水友陽、納谷真大、西田薫、磯貝圭子ほか
期 間:8月26日～3月29日(17回)
実 施 校:石狩市立生振小学校、札幌市立苗穂小学校、洞爺湖町立とうや小学校、
洞爺湖町立洞爺中学校、北海道札幌琴似工業高等学校、北海道札幌厚別高校

◎文部科学省「文化芸術による子供の育成事業～コミュニケーション能力向上事業」(学校申請)

講 師:清水友陽、小佐部明広、前田透、田中春彦ほか
期 間:6月28日～11月5日(14回)
実 施 校:立命館慶祥中学校、札幌市立幌西小学校

◎文部科学省「文化芸術による子供の育成事業～コミュニケーション能力向上事業」(コーディネーター方式)

講 師:清水友陽、納谷真大、西田薫、磯貝圭子ほか
期 間:10月12日～11月26日(17回)
実 施 校:札幌市立盤溪小学校、札幌市立北野小学校、札幌市立札幌苗緑小学校、
札幌市立栄東小学校、札幌市立美しが丘緑小学校、札幌市立苗穂小学校

◎演劇・表現体験ワークショップ(厚別区「小学校演劇鑑賞会」事前学習)

講 師:斎藤歩、西田薫
期 間:9月7日、9月19日(2回)
実 施 校:札幌市立もみじの森小学校、札幌市立信濃小学校

3.地域で輝く子どもと子育て世代、そして高齢者のためのコミュニケーションワークショップ事業

(北海道石狩振興局「地域づくり総合交付金」)

- i) 地域の未来を担う子どもたちのコミュニケーションワークショップ事業
- ii) 親子・子育て世代をつなぐコミュニケーションワークショップ事業
- iii) 高齢者と地域住民を元気づけるコミュニケーション事業
- iv) 地域リーダー育成のためのワークショップ事業

講 師:櫻井幸絵、西田薫、廣田直美、櫻井幸絵、櫻井ヒロほか
期 間:9月15日～3月15日(74回)
開催場所:ぴらけし子ども食堂、えぞりすクラブ、まちなかキッズサロンおおどりんこ、
COMMUNITY HUB 江別港、大成寺、シアターZOO ほか

4.その他の事業

◎立命館慶祥高校スタートアップ研修(講師派遣)

講 師:清水友陽、磯貝圭子、西田薫、熊木志保ほか
期 間:4月11日～12日(2回)
開催場所:立命館慶祥高等学校

◎中文連演劇ワークショップ 2017 初級編(中文連演劇専門委員会／講師派遣)

講 師:清水友陽、弦巻啓太、櫻井幸絵

期 間:5月13日(1回)

開催場所:札幌市教育文化会館

◎ボラセン jr.学習会(紋別市社会福祉協議会／講師派遣)

講 師:斎藤歩、清水友陽、納谷真大

期 間:6月10日、10月22日(2回)

開催場所:紋別市総合福祉センター

◎舞台塾(北海道文化財団)(講師派遣)

講 師:斎藤歩、清水友陽、西田薫

期 間:8月24日(2回)

開催場所:砂川市立砂川小学校

◎教師と保護者の語り合会コミュニケーションワークショップ(講師派遣)

講 師:斎藤歩

期 間:9月23日(1回)

開催場所:北星学園大学付属高校

◎浄土宗児童教化連盟コミュニケーションワークショップ(講師派遣)

講 師:清水友陽、斎藤歩、西田薫、前田透

期 間:9月29日(1回)

開催場所:ホテルライフォート

◎とよひら子どもユメひろばコミュニケーションワークショップ(講師派遣)

講 師:斎藤歩

期 間:11月23日(1回)

実施場所:シアターZOO

2.「北海道の演劇の向上事業」演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の通り実施した。

(1)扇谷記念スタジオ・シアターZOOの運営、管理

創造力を喚起する魅力的な創造空間の提供により、演劇をはじめ広範な芸術文化活動を振興し、優れた創造活動を地域に興すことを目的として運営、管理した。具体的運営は、これまでの「代表幹事制」を変更し、平成29年度より運営責任者および運営者を置くこととした。

運営責任者:斎藤歩(札幌座チーフディレクター)

運営者:木村典子(札幌座プロデューサー)、清水友陽、すがの公、弦巻啓太、櫻井幸絵(札幌座ディレクター)

扇谷記念スタジオ・シアターZOOを、より地域に深く根差す「地域密着型劇場」、そこを拠点として人材が集まり作品創造に取り組む「創造型劇場」、この2つを柱に以下の事業を行った。

1.シアターZOO「企画公演」「提携公演」事業

これまで、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと協力し、シアターZOO【Re:Z】を実施してきたが、これを取り止め、上記の2つの柱に沿った長期的展望に立った事業として実施した。

◎企画公演

札幌の20～30代の劇作家3人を選抜し、若手劇作家の育成と創造を目的に公演を行うとともに、札幌国際芸術祭2017公式プログラムとしてダンス公演の再演、昨年から取り組んできた小さな子どもから大人まで楽しめる「劇のたまご」を新たなシリーズとして継続して上演した。また、新たな観客層の開発にも取り組んだ。

- 8月：札幌国際芸術祭2017公式プログラム「raprap」8月23日～26日(5回公演)
- 11月：劇のたまご「ぐりぐりグリム第一章～おかしな森のヘンゼルとグレーテル」11月3日～5日(5回公演)
劇団・木製ボイジャー14号「ホテル」11月17日～19日(5回公演)
- 12月：プロト・パस्पア「ある映画の話」12月1日～3日(5回公演)
レッドキングクラブ「ガタタン」12月14日～17日(6回公演)

◎提携公演

札幌座のディレクターが代表を務める劇団(ハムプロジェクト、清水企画、弦巻楽団)、道内出身で東京に活動拠点を置くアーティスト(道産子男闘呼倶楽部、MAM)を中心に、道内外で精力的に活動する劇団およびアーティストと提携し、北海道における演劇の創造と向上を目指した。

- 4月：道産子男闘呼倶楽部「漢達の轆曳競馬」(東京)4月14日～16日(4回公演)
- 6月：札幌ハムプロジェクト「アイノウ」(札幌)6月9日～11日(4回公演)
- 7月：下鴨車窓「濁った蜃気楼」(京都)7月1日～2日(3回公演)
清水企画「昼間談義」7月28日～30日(5回公演)
- 11月：MAM「月ノツカイ」「父と暮らせば」(東京)11月7日～13日(10回公演)
札幌ハムプロジェクト「象に釘」「Dr.サンタ、まちがってサンタをつくる」12月22日～26日(8回公演)
- 1月：ラボチプロデュース「Not Decided」(札幌)1月13日～14日(4回公演)
- 3月：弦巻楽団「舞台に立つ～ハムレット」(札幌)3月30日～4月1日(5回公演)

2.シアターZOO「育成・普及啓発」事業

シアターZOOを「創造型劇場」「地域密着型劇場」として運営するため、下記の育成ならびに普及啓発事業を実施した。

◎劇作家を育てるリーディング事業]

クリティック：斎藤歩ほか
期 間：9月7日、9月8日、10月4日(3回)
実施場所：シアターZOO

◎演劇人のためのスキルアップレッスン

講 師：斎藤歩、櫻井ヒロ、横尾美穂、清水友陽
期 間：9月27日・28日、10月28日・29日、11月1日・2日、12月15日・16日(8回)
実施場所：シアターZOO、スタジオ1

◎シアターZOOラボ2017

講 師：多田淳之介(富士見市民文化会館キラリふじみ芸術監督)、
吉本光宏(ニッセイ基礎研究所研究理事)、蔭山陽太(ロームシアター京都支配人)、
伊東正示(シアターワークショップ代表)他
期 間：7月22日、8月7日、9月3日、12月13日(4回)
実施場所：シアターZOO、スタジオ1

3. シアターZOO 寄席

春のシアターZOO 寄席 5月7日(2回)

夏のシアターZOO 寄席 8月6日(2回)

秋のシアターZOO 寄席 10月22日(2回)

冬のシアターZOO 寄席 1月8日(2回)

4. 札幌劇場祭参加公演

公演作品〔シアターZOO 企画として〕

劇のたまご「ぐりぐりグリム第一章～おかしな森のヘンゼルとグレーテル」

劇団・木製ボイジャー14号「ホテル」

プロト・パスポア「ある映画の話」

MAM「月ノツカイ」「父と暮らせば」

札幌ハムプロジェクト「象に釘」「Dr. サンタ、まちがってサンタをつくる」

開催期間:11月1日～12月3日

(2) サンピアザ劇場企画公演プレミアムステージの企画運営

札幌副都心開発公社と協力し、プレミアムステージの企画運営を行った。

札幌座第53回公演「空知る夏の幻想曲」

公演日:10月14日～20日

(3) シアターZOO STAGE NEWS の発行

発行日:第59号 6月1日発行(3000部)

第60号 9月1日発行(3000部)

第61号 12月1日発行(3000部)

第62号 3月1日発行(3000部)

配布先:市内劇場、飲食店、映画館ほか

3. 地域における演劇に触れる機会の提供に関する事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の通り実施した。

(1) 地域文化活動の担い手の育成

各地の公共ホール運営団体や文化団体の企画担当者に、文化事業実施に関する情報やノウハウの提供を行い、地域における有益な文化活動を推進する担い手の育成を目指した。

(2) 各地域の自治体および団体による公演活動

地域の人々のつながりや個性ある地域社会をつくるために有効な文化事業を提案し、またその実施に際しスタッフの派遣、事業の運営および管理を行い、6作品を16都市で18公演を行った。

ただし、実施予定だったブリエール「ザ・フルーツⅡ」(3か所4公演)は、劇団の事情により中止となった。

◎劇団東京乾電池「やんごとなき二人」

作:安倍照雄 演出:平山秀幸 出演:綾田俊樹、ベンガル

公演地:豊橋市(愛知県)

時期:5月10日 <1か所1回公演>

◎ブリエール「世襲戦隊カゾクマンⅡ」

作・演出:田村孝裕 出演:山口良一、熊谷真美、芋洗坂係長ほか

公演地:富良野市、旭川市、北見市、基山町(佐賀県)、北九州市(福岡県)、西宮市(兵庫県)

時期:8月1日～8月25日 <6か所6回公演>

◎KAAT「ピノキオ」

脚色・演出:宮本亜門 出演:小此木まりほか

公演地:盛岡市(岩手県)

時期:8月5日 <1か所1回公演>

◎札幌座「空知る夏の幻想曲」

作・演出:斎藤歩 出演:佐藤健一、山本菜穂、高子未来ほか

公演地:江別市、帯広市、石狩市、中標津町、北広島市、岩見沢市

時期:9月28日～10月24日 <6か所8回公演>

◎MTP「笑った分だけ、怖くなる」

演出:小野寺修二 出演:白石加代子、佐野史郎

公演地:札幌市

時期:11月6日 <1か1回公演>

4. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の通り実施した。

(1) 市民活動との協力

市民による文化的まちづくりの充実を図るため、「特定非営利活動法人札幌座くらぶ」と提携し、情報交換会「シアターZOO サロン」を年9回開催した。また、ボランティア組織(清田演劇のつどい実行委員会、江別札幌座くらぶ、札幌座岩見沢公演実行委員会(仮称))と協力して札幌市内および近郊で演劇公演を行った。

(2) 広報紙の発行

北海道演劇財団21年目の新たな体制、新たな事業の展開を踏まえ、広報紙の充実を図るために内容を刷新し、より広報活動に使用できるものとして発行した。

発行日:第44号 4月20日発行

第45号 10月25日発行

発行部数:各700部

配布先:後援会員、支援者、支援団体、道内文化施設など

② 収益事業について

1. 演劇等の創造活動の促進支援に関する事業

定款第4条第2号に掲げる事業は、次の通り行った。

(1) 劇場とスタジオ1・スタジオ2の貸与

地域の劇団や文化団体などに活動の場を提供するため、所有する扇谷記念スタジオのシアターZOOを主に道内の劇団や文化団体に、スタジオ1・スタジオ2を特定非営利活動法人札幌座くらぶにそれぞれ貸与した。

2. 演劇等の創造環境の充実及び市民活動の育成に関する事業

定款第4条第4号に掲げる事業は、次の通り行った。

(1) 会計入力等経理全般事務の受託

同じ目的を持つ芸術文化団体には財政基盤の弱いところが多い。このため芸術文化活動を継続し、展開するために必要な会計処理等経理事務の人員配置が困難な団体から、会計入力等経理全般事務を受託した。

受託団体: 特定非営利活動法人札幌座くらぶ